

# 令和4年度 奄美野生生物保護基金 活用状況のご報告

ゆいの島動物病院さん・奄美いんまや動物病院さんよりご報告頂きました。内容は以下の通りです。

## 傷病個体詳細

| 傷病原因      | 保護個体数 | リリース数 | 死亡個体数 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 交通事故      | 28    | 9     | 17    |
| 外傷・感染症    | 4     | 0     | 3     |
| バードストライク  | 5     | 3     | 2     |
| 衰弱        | 5     | 1     | 4     |
| 他個体による襲撃等 | 4     | 3     | 1     |
| 不明        | 9     | 2     | 6     |
| その他       | 12    | 9     | 3     |
| 合計        | 67    | 27    | 36    |

※その他は誤認保護等を含みます。

※他個体による襲撃等はイヌ・ネコ・ハブ咬傷を含みます。

※保護個体は直接動物病院へ搬送される場合もあります。

※他機関への移管や継続保護中のため、上の表で保護数とリリース数+死亡数が一致しない場合もあります。

左の表は令和4年度4月～3月までに奄美いんまや動物病院とゆいの島どうぶつ病院に搬送された傷病鳥獣の主な傷病原因とその保護個体数、リリース数、死亡個体数です。令和4年度は67個体の傷病鳥獣を保護しました。

現時点でのリリース率は約40%ですが、保護個体のうち他機関への移管が2個体、継続治療中の個体が2個体いるため生存率は約46%です。

保護された生き物の種類は鳥類が24種と最多で、その他アオウミガメ、アマミシリケンイモリ、ケナガネズミ、アマミノクロウサギの計28種でした。

## 保護個体紹介



トリガミネカンアオイ



リュウキュウアカショウビン

左の写真はトリガミネカンアオイという希少種で、R4年冬に開花した株です。奄美野生生物保護センターでは、本種のように盗掘等で野生復帰が難しくなってしまった希少植物を保護基金を活用して保護・栽培しています。

右の写真はリュウキュウアカショウビンという普通種の鳥で、R4年8月にゆいの島動物病院さんに搬送された個体です。この個体は残念ながら亡くなってしまいましたが、亡くなった個体は博物館に寄贈したり、大学の先生に検体として提供され、今後の適切な傷病対応や学術的な知見として活かされます。

## ひとこと

上の表の通り、交通事故に遭った保護個体は半数ほどが死亡してしまっています。交通事故に遭うと、程度にもよりますが助けることが難しいと考えられます。動物たちが事故に遭わないよう、車を運転する方は注意して運転するよう心がけてください。

また傷病個体を安全かつスムーズに保護するため、どうぶつレスキューボックスという専用の箱が活用されています。令和4年度事業で当基金を活用して104箱購入し、希望のあった8自治体と奄美野生生物保護センターに配布しました。